

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年六月度 入選句（投稿総数二千二百四十二句・一般投句数五百十三句）

特選

選者 長野 美代子

万緑や絵の具にはない色と艶

岐阜市

後藤 衣錦

大垣は三方山に囲まれ緑の中に暮していると言っても過言ではない。四季折々の緑を考へても、春は若緑いろ、夏は濃い緑に、秋は錆色の緑、冬は深い黒味がかつた緑と、いつ見ても心安らぐ所である。自然の神は素晴らしい。絵皿の色はどうしても同じ色は出せぬ。人はそれを感じても仲々作句出来ない所を詩われ唯々感嘆するばかりです。秀句ですね。

厨窓打つ音はげし男梅雨

大垣市

岡田 あや子

今年は梅雨に入っても仲々雨が降らなく、ところが降り出すと大雨となり大変である。開けてあつた厨の窓をあわてて閉めることがよくある。

下五のしつかりとした季語によりぐつと締った御句となりました。

素敵ですね。

初蝶の二頭出逢へば恋に落ち

不破郡垂井町

高木 巧み

蝶が一つとんで来るとすぐ後からもう一つ来てもつれつ仲良くとんでいますね。これは恋人かな、いや恋が始まるのかな、どんな蝶ももつれつからみつ良いですね。  
若かりし頃を思い出すほえましい御句ですね。

秀逸

すれ違ふ漢祭の火の匂ひ

養老郡養老町

田中 紫香

叱られて道の竹の子手折らるる

大垣市

棚橋 みさを

観音の千の掌若葉風

不破郡垂井町

富田 実郎

野遊びの子を待つ草の匂ひかな

大垣市

福永 峰子

幾千歳花迎へたし川灯台

大垣市

上嶋 水樂

帰る夫風連れ来る軒風鈴

大垣市

田中 雅子

田の神の幣ひるがへす青田風

大垣市

宮脇 和子

紫陽花のむらさき匂ふ今朝の雨

大垣市

吉田 てるみ

掌に掬ふ螢火息をつぐ

不破郡垂井町

西垣 和志

早苗束投げるに上手下手のあり

兵庫県神戸市

紫 桔梗

入選

白雲も月も浮かべし夜の代田  
扇風機連れて家事する更年期  
廃屋の壁埋め尽くす蔦若葉  
野仏の首の継ぎあと遠青嶺  
紫陽花の色増してをり今朝の雨  
遠ざかる囃子に並ぶ灯の朧  
山寺の栄枯知らずや水馬  
句碑の道楠落葉掃く翁  
魁夷の馬駆け出しさうな五月かな  
足湯にも浮かべてありし菖蒲かな

|         |     |     |
|---------|-----|-----|
| 愛知県額田郡  | 平松  | 京師  |
| 大垣市     | 井沢  | 美志津 |
| 大垣市     | 仁村  | 光生  |
| 東京都世田谷区 | 関戸  | 信治  |
| 大垣市     | 久保田 | 悟義  |
| 大垣市     | 日比野 | 友子  |
| 岐阜市     | 島   | めぐみ |
| 岐阜市     | 花川  | 和久  |
| 岐阜市     | 小湊  | 順子  |
| 大垣市     | 村田  | 通夫  |

入選

被せ藁にかほ出してゐる雨蛙  
走り梅雨地に低く跳ぶ朝雀  
逃げまどふ金魚すくう手子と親と  
豪雨にものらりくらりとかたつむり  
実梅落ち色も歪も織部かな  
栗の花咲きそめ匂ふきのふけふ  
白といふ眩しき色よ衣更  
ゆつたりと歩む余生やかたつむり  
青田波立ちこぎの背のリュックはね  
天を指すいきおい見せて松の芯

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 大垣市    | 臼井  | 秀子  |
| 大垣市    | 野村  | 多佳子 |
| 海津市    | 横井  | 美圭  |
| 大垣市    | 伊藤  | 誕江子 |
| 大垣市    | 平野  | きぬよ |
| 不破郡垂井町 | 久保田 | 紘義  |
| 大垣市    | 新町  | 恵子  |
| 大垣市    | 平野  | ヒサエ |
| 大垣市    | 高木  | 佐知子 |
| 滋賀県甲賀市 | 甲賀  | 忍者  |

選者吟

額の花項垂れて雨待ち侘びる

美代子